

2014年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

教室だより 7月号

長い夏休み、何かにチャレンジしてほしい

もうすぐ夏休みが始まります。たっぷりと自由な時間を過ごすことができる。子どもたちの特権ですね。自由にのびのびと夏休みを楽しんでほしいと思います。でも、せっかくなら充実した夏にしてほしい・・・。

何でもいから自分でテーマを決めて、夏休みの間、積極的に取り組んでくれるとうれしいですね。子どもは、まわりから押しつけられたことは、たとえそれが好きなことであっても、押しつけられたことに反発して、やる気になりにくく、たとえできたとしても子どもの満足感にはつながりにくいようですが、自分で選んで決めたことなら、やってみようという気になれるようです。そのために、お母さまがいくつかのチャレンジ企画を用意して、「どれにチャレンジする?」と提案してあげてはいかがでしょうか。

例えば、毎日読書(お子さまの読書体力を考慮して20分・40分・60分コースを用意して)、毎日お手伝い、毎日犬の散歩、毎日素振り、毎日ダンスレッスン、そして毎日くもん!

とにかく毎日続けることが大事です。毎日続けられる計画(チャレンジテーマ)が大事です。やり遂げた達成感が、お子さまをひと回り大きくしてくれるはず!

そして、すかさずほめてあげましょう。自分で決めて、やり続けて、そして達成した、その事実を!

公文式の創始者・公文 公(くもんとおる)先生の言葉より

“子どものもつ能力の可能性を最大限に引き出す”

自分の力で楽にできるところからスタートして、各人に合ったペースで進んでいく——それが公文式の個人別学習法です。小学校の高学年や中学生でも、必要なら「たし算」から学習しますし、その一方で、小学生のうちに方程式や因数分解を解けるようになっていく子もいます。

公文式は自分の力で学習できる段階をステップアップしていくことで、年齢や学年にとらわれず、無理なく、学校で習っているところより先に進んでいくことを目指しているのです。子ども一人ひとりがもつ能力を最大限に引き出したい、自分の可能性がどれほど大きいかわかるまで自分の力で追求してほしい、と願うからです。

学年よりも2学年、3学年と先へ進んでくると、子どもは自主性、積極性、判断力、創造性などの面でもめざましく成長していきます。「読み、書き、計算」の学習を通して、「やればできる!」という自信を積み重ねる——そんなわが子を励まし、その可能性を信じ続けてあげることが子どもにとって「生きる力」の源となるのです。

2014年7月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 ※の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

本市場教室日□ 横割教室日△

今月のことわざ

日進月歩

ものごとが毎日毎日よくなっていくこと。

「日進月歩するのりもののおかげで、楽しい旅行がで
きるようになった。」

「お兄さんの話によると、テレビゲームの技術は日進
月歩しているということだ。」

くもん出版刊「四字熟語カード」より

*ゆき子の一言コラム

宿題を面倒がる子どもをやる気にさせる一言

「子どもがなかなか宿題をしない」というのは、よくある親の悩みでしょう。イライラを募らせたり、わが子とバトルを繰り返すことなく、うまくやる気を引き出してやるには、どんな言葉をかけてあげるといいのでしょうか。そこで今回は、独自アンケートの結果を参考に「宿題を面倒がる子どもをやる気にさせる一言」をご紹介します。

【1】「ママのアイロンかけとどっちが先に終わるかな？」と競争をけしかける。「『ママはトイレ掃除するから、早くできたほうが勝ちね』と持ちかけると、負けず嫌いの息子は必死でやります！」(30代女性)というように、ゲーム感覚でペースに巻き込むと、とたんにスタートダッシュに拍車がかかる子は少なくないようです。たまにはわざと負けてやり、達成感を味わわせてあげましょう。

【2】「宿題したら、アイス食べようか」とご褒美でつる。「『いつまでもやらない子は、おやつ抜きだよ』と脅す」(20代女性)というように、食べ物を武器にしてしまうのも、子どもを上手に操作するには手っ取り早い方法でしょう。ただし、あまり頻繁に使うと「宿題すれば好きなおやつをもらえる」という図式ができあがり、要求がエスカレートしかねないので、ほどほどにしておいたほうがよさそうです。

【3】「いつもちゃんと宿題しててエライね」と先に褒めてしまう。「『本当に勉強頑張ってるね。おかあさんもうれしいよ!』と笑顔で先制」(30代女性)というように、「ちゃんとやること」を前提に誘導し、逃げ場をなくしてしまうのもいいでしょう。始める様子がなかったら、「もうやっちゃうんだ、さすがだねー!」などと声をかけて、明るくプレッシャーをかけてしまうのも手です。

【4】「終わったら、夜ご飯までテレビ見ていいよ」と条件を提示する。「『今やっちゃうと、あと一時間はゲームできるよねえ』とつぶやく」(30代女性)というように、すぐ目の前に好きなことをチラつかせると、わが子のエンジンもかかりやすくなりそうです。「今月いっぱい約束通りにできたら、次の連休は遊園地に行こうか」など、少し長いスパンの目標を立ててみるのもいいでしょう。

【5】「ねえ、どんな宿題かママに見せて」と自然に勉強モードに導く。「『今日は何の問題なの?』と会話の流れで意識を向ける」(20代女性)というように、「勉強しなさい」と正面から攻めるのではなく、さりげなく机に向かうよう仕向ける手もあります。母親が関心を寄せていることがわかると、子どもも「やらなきゃ」と改めて自覚してくれるかもしれません。

【6】「とりあえず一問だけ解いてみようよ」と手をつけさせる。「うちの子は一度やりかけると気になるタイプなので、着手させればあとはスムーズ」(30代女性)というように、まずはひとつをクリアさせて、その先へ促してあげる方法です。単に「やってね」というスタンスではなく、励ましながら背中を押してあげると、徐々にでも気持ちに乗ってくるかもしれません。

【7】「どうしてしないのかな？」と理由を尋ねる。「『宿題するのって、やっぱり大変?』などと聞いてみる」(40代女性)というように、やる気にならない根本的な原因を探れば、対策を立てやすいかもしれません。責めるような口調では逆効果なので、わが子の気持ちに寄り添って、相談にのるようなトーンで話に耳を傾けましょう。

【8】「こんな難しい勉強してるなんてスゴイ!」と持ち上げる。「問題をチラッと見て、『えー、こんなわかるんだ!』と驚かせてみる」(30代女性)というように、机に向かったものの一向に進まないときは、おだてて後押しするのもひとつの手です。とにかく大げさなくらい褒めたたえれば、気分がよくなって、前向きに取り組んでくれるかもしれません。

【9】「宿題しないと、自分が困るんだよ」と諭す。「『なんで家でも勉強しなきゃいけないんだと思う?』と質問して、真剣に考えさせる」(30代女性)というように、宿題の意義について親子で話し合ってみるのもいいでしょう。自分が学校の授業についていけずに苦労した経験を語ると、リアリティがあって、子どもの心に響くかもしれません。

ある日、本市場教室での出来事。

6年生の女の子が自転車で公文。帰るとき鍵がなくなっているのが大騒ぎ。みんなで遅くまで探しても出てきませんでした。本人は鍵をかけないで置いたままだったそうで、公文を終えた誰かがいたずらで?鍵をかくした?疑いたくありませんね。教室へ通っている子に限って。残念ながら不信感を持ってしまいました。結局新しく鍵を買い取り付けてもらいました。いたずら心でもそうした子は、将来大人になったら大変だろうと、考えさせられた日でした。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

6月分の会費引き落としは6月30日(月)です。よろしくお願ひいたします。□(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。□*最近 教室からお迎えの電話をする子で、電話代を置いていかない子がいます。大家さんから電話代が足りないと苦情がありました。お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。